

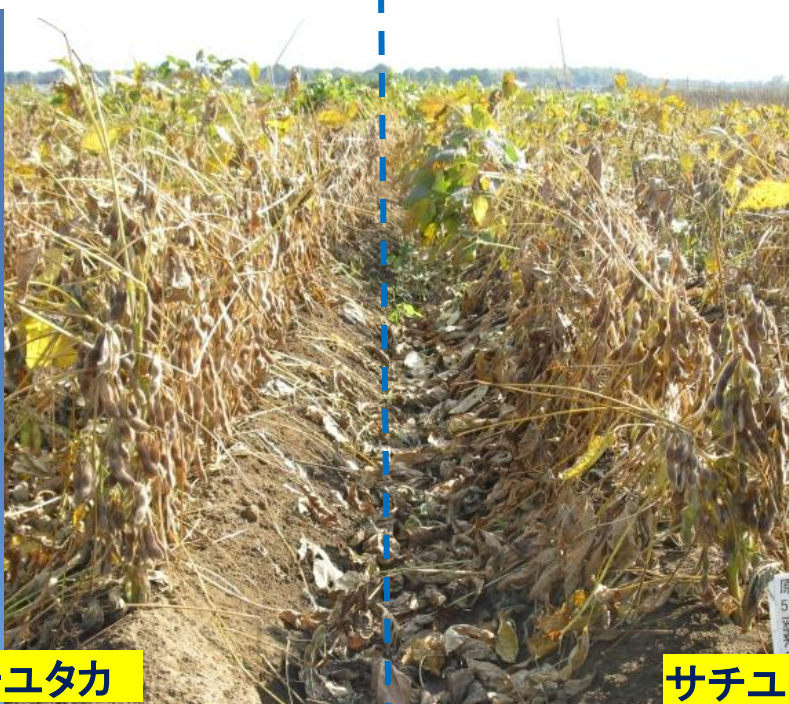
莢がはじけにくい大豆新品种「サチユタカA1号」

目的と特徴

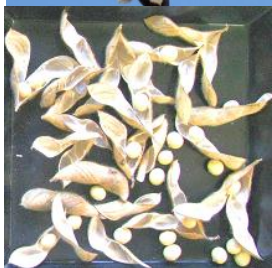
- 大豆は刈り遅れると莢がはじけて、収量ロスが大幅に増加します。
- 西日本の主力品種「サチユタカ」は莢がはじけやすいため、莢がはじけない特性（難裂莢性）だけを導入した「サチユタカA1号」を育成しました。
- 「サチユタカA1号」の成熟期、耐倒伏性、収量等の農業特性・品質特性は「サチユタカ」とほぼ同じで、容易に「サチユタカ」普及地域へ導入できます。
- 「サチユタカA1号」は莢がはじけないため、刈り遅れても収量低下は最小限に抑えることができます。



サチユタカ



サチユタカA1号

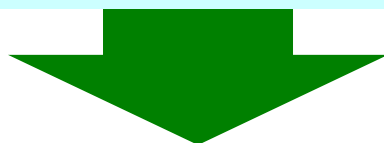


サチユタカは刈り遅れると
莢がはじけて大幅に減収

「サチユタカA1号」は刈り
遅れても莢がはじけない



「サチユタカA1号」は裂莢性以外は
「サチユタカ」とほぼ同じ



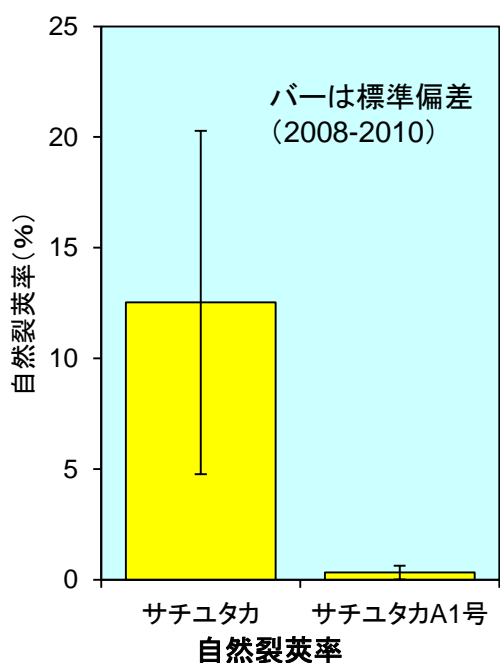
「サチユタカ」普及地域では「サチユタカA1号」に置き換えるだけで、自然裂莢やコンバイン収穫ロスを防いで、実質的な収量増加が期待できる

成果

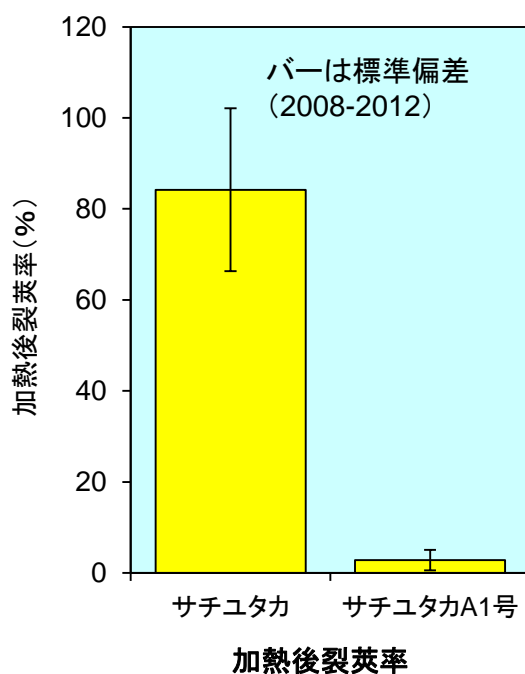
- 「サチユタカA1号」は裂莢しにくいいため、成熟後圃場に放置してもほとんど裂莢しません。
- 成熟期、倒伏、収量等の特性は「サチユタカ」とほぼ同じであり、品種を置き替えることで自然脱粒やコンバイン収穫ロスを防止でき、実質的な収量の増加が期待できます。

品名	開花期 (月・日)	成熟期	生育中の障害			主茎長 (cm)	子実収量 (kg/a)	対標比 (%)	百粒重 (g)	障害粒程度			品質	蛋白質含量 (%)	
			倒伏	青立	立枯					紫斑	褐斑	裂皮			
6月播種区	サチユタカA1号	8.07	10.26	中	微	微	63	32.0	102	29.4	無	無	微	中上	45.6
	サチユタカ	8.06	10.25	中	少	微	62	31.7	100	29.6	微	微	少	中上	46.9
	タチナガハ	7.30	10.19	微	多	微	60	29.7	94	30.3	少	無	少	中中	43.5
	フクユタカ	8.13	11.02	甚	少	微	97	27.6	89	28.2	微	無	中	中中	44.7
7月播種区	サチユタカA1号	8.22	11.02	微	微	無	46	35.1	105	31.7	無	微	微	中上	44.9
	サチユタカ	8.21	11.02	微	少	無	46	33.8	100	31.5	無	微	少	中上	46.8
	タチナガハ	8.17	10.26	微	中	無	49	29.5	88	32.6	少	微	微	中上	42.6
	フクユタカ	8.26	11.11	少	微	微	69	35.8	108	29.1	微	微	少	中上	44.9

注) 2009-2012年作物研究所産



注) 成熟後1ヶ月間圃場に放置したときの自然裂莢率(作物研究所圃場)



注) 莢を通風乾燥機で60°C、3時間加熱したときの裂莢率(作物研究所産)

対象作物、普及対象

- ・大豆、関東南部以西

対象農家

- ・大規模大豆作農家、「サチユタカ」栽培農家、作期分散を図りたい農家

関連HP (成果情報)

<http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/nics/2009/nics09-02.html>

その他

- ・「サチユタカA1号」は裂莢しにくいですが、成熟後に長期間圃場に放置すると次第に品質が劣化するので、早めに収穫を行います。